

2019（平成 31）年度前期  
教学改善のための授業評価アンケート  
報告書

大阪成蹊短期大学

調査概要

授業評価アンケート結果

調査票

## 調査概要

### 1) 調査目的

授業評価アンケートは、本学教学改革の一環として、授業改善を第一の目的として実施するものである。個々の授業に対して学生の率直な意見を聴取・理解し、学生にとって分かり易く、学習成果の得易い教育活動が行えるよう、授業の充実・改善、授業法の開発に資することを目的とする。受講者数が10名未満の授業を除き、ほぼすべての授業科目を対象としている。また、ピアノ科目にはピアノ科目用の授業アンケートを実施している。

### 2) 調査項目

#### <一般科目>

- ・回答者の基本属性(所属学部、学年、性別、学生区分)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(6問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(15問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(1問)

#### <ピアノ科目>

- ・回答者の基本属性(所属学部)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(10問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(1問)

### 3) 調査対象

本学の2019(R1)年度前期開講の全授業(※受講者が10名未満のクラスの場合、担当教員の任意で実施)、及びこれらの授業を履修している全学生

### 4) 調査方法

- ・各授業の終了前15分程度を使用し、出席者に対して無記名式の調査を行う。
- ・アンケート用紙の配付・回収は、教員が指名した学生2名が行う。学生指名後、教員は退室する。
- ・指名学生がアンケート用紙を配付。回答時間は、授業時間終了2分前までを目安とする。
- ・指名学生はアンケート用紙を回収後、回収用封筒に封入・封緘し、教務課に提出する。

### 5) 調査期間

2019(R1)年7月15日(月)～2019(R1)年8月2日(金)(※原則、14週目に実施)

## 調査実施率と回収率

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当 所属	生活デザイン学科	24 科目	24 科目	100 %
	調理・製菓学科	81 科目	81 科目	100 %
	栄養学科	49 科目	48 科目	97.96 %
	幼児教育	195 科目	194 科目	99.49 %
	観光	42 科目	42 科目	100 %
	GC	29 科目	29 科目	100 %
	経営会計	35 科目	34 科目	97.14 %
	共通科目	99 科目	99 科目	100 %
	博物館課程	5 科目	5 科目	100 %
	司書教諭	6 科目	6 科目	100 %
2019(R1)前期 計		565 科目	562 科目	99.47%

有効回答率 87.76%

## 6) 調査結果の活用

アンケート結果はプロジェクトチームによって分析され、教学改革会議において報告された。また、授業ごとのアンケート結果は担当の教員に戻され、各教員はその結果を受けて授業改善計画書を作成し、次期授業の中で改善計画を実践していく。

本学では、教学改革会議のプロジェクトチームが中心となり、各学部・学科、FD委員会、教務係などと連携しながら、授業評価アンケートの結果を授業改善へとつなげていく。

## 授業評価アンケート結果

◆経年比較 ※29問中「1」または「5」の解答が28以上のケースは除いている。

I 授業への学生の取り組み	2018後期		2019前期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1. この授業への出席状況	3.83	1.28	4.00	1.21
2. この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	3.95	1.08	3.97	1.10
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均時間(授業時間を除く)	2.04	1.20	1.90	1.10
4. 「全ての授業(この授業を含む)の予習・復習・課題+その他の自主的な学習」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間(授業時間を除く)	1.75	1.11	1.63	0.99
5. この授業の難易度(自分にとって)	3.33	0.82	3.34	0.80
6. 私はこの授業のシラバスを活用した。	2.28	1.28	2.18	1.19
II 授業内容と授業の進め方				
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	3.94	0.99	3.92	1.06
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	3.97	0.98	3.93	1.05
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	3.97	0.98	3.94	1.04
4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	3.97	0.94	3.93	0.99
5. 教員は学生の授業参加(質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など)を促していた。	4.00	0.93	3.99	0.97
6. 学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価)をしていた。	3.97	0.94	3.98	0.97
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.01	0.92	4.01	0.96
8. テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	3.97	0.95	3.96	1.01
9-1. (講義・演習科目の場合)黒板やスライド資料(パワーポイントなど)は適切で分かりやすかった。	3.96	0.95	3.96	1.00
9-2. (実技・実験・実習科目の場合)教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。				
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.06	0.92	4.07	0.95
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	4.09	0.90	4.12	0.92
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	4.03	0.92	4.03	0.94
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	3.96	0.96	3.99	0.97
14. 教員はよい授業となるよう授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	3.98	0.94	3.98	0.97
15. この授業では適切な教育設備(ネット・空調・プロジェクタなど)が整っていた			4.07	0.94
III 授業を通じて得られたこと				
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	4.02	0.90	3.99	0.96
2. 学習力や思考力が高まった。	3.97	0.91	3.93	0.97
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	3.94	0.92	3.90	0.99
4. 考え方や社会的視野が広がった。	3.96	0.92	3.90	0.98
5. コミュニケーションする力(他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力)が高まった。	3.89	0.95	3.85	0.99
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標(知識、技能、態度など)を達成できた。	3.76	1.14	3.78	0.99
7. これから生きていく上で役立つと思う。	4.05	0.91	4.04	0.96
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.02	0.93	4.00	1.00

2018年度後期の値と比較して、各質問項目の平均値、標準偏差ともに大きな変化はなく、類似した傾向であることがうかがえる。全体満足度は高い水準を維持している。

◆条件による「授業運営」尺度、「学修達成」尺度の違い

アンケート項目のうち

Ⅱ-1からⅡ-14までの平均を「授業運営」尺度とする。

Ⅲ-1からⅢ-8までの平均を「学修達成」尺度とする。

学科（学年別）

学年			授業運営	学修達成
生活デザイン	1 回生	平均値	4.19	4.06
		度数	564	565
		標準偏差	0.75	0.80
	2 回生	平均値	4.02	3.93
		度数	253	258
		標準偏差	0.70	0.76
合計		平均値	4.13	4.02
		度数	817	823
		標準偏差	0.74	0.79

学年			授業運営	学修達成
調理・製菓	1 回生	平均値	3.96	3.88
		度数	1284	1303
		標準偏差	0.87	0.89
	2 回生	平均値	4.06	4.01
		度数	1098	1106
		標準偏差	0.96	0.96
その他		平均値	3.00	3.00
		度数	1	1
		標準偏差	.	.
合計		平均値	4.01	3.94
		度数	2383	2410
		標準偏差	0.91	0.92

学年			授業運営	学修達成
栄養	1 回生	平均値	3.85	3.66
		度数	998	1008
		標準偏差	0.98	1.03
	2 回生	平均値	4.29	4.23
		度数	677	678
		標準偏差	0.78	0.76
合計		平均値	4.03	3.89
		度数	1675	1686
		標準偏差	0.93	0.97

学年		授業運営	学修達成	
幼児教育	1 回生	平均値	3.98	3.90
		度数	3826	3851
		標準偏差	0.92	0.95
2 回生	2 回生	平均値	3.93	3.92
		度数	2940	2960
		標準偏差	0.89	0.87
合計	合計	平均値	3.96	3.91
		度数	6766	6811
		標準偏差	0.91	0.92

学年		授業運営	学修達成	
観光	1 回生	平均値	4.07	3.99
		度数	1048	1068
		標準偏差	0.85	0.88
2 回生	2 回生	平均値	3.99	3.96
		度数	467	464
		標準偏差	0.80	0.85
合計	合計	平均値	4.04	3.98
		度数	1515	1532
		標準偏差	0.84	0.87

学年		授業運営	学修達成	
GC	1 回生	平均値	4.26	4.08
		度数	325	330
		標準偏差	0.69	0.75
2 回生	2 回生	平均値	4.27	4.16
		度数	227	225
		標準偏差	0.68	0.71
合計	合計	平均値	4.26	4.11
		度数	552	555
		標準偏差	0.68	0.73

	学年		授業運営	学修達成
経営会計	1 回生	平均値	3.89	3.78
		度数	574	582
		標準偏差	0.77	0.79
	2 回生	平均値	3.69	3.60
		度数	264	267
		標準偏差	0.86	0.79
	合計	平均値	3.83	3.73
		度数	838	849
		標準偏差	0.80	0.79

	学年		授業運営	学修達成
合計	1 回生	平均値	3.99	3.89
		度数	8619	8707
		標準偏差	0.89	0.92
	2 回生	平均値	4.00	3.97
		度数	5926	5958
		標準偏差	0.88	0.87
	その他	平均値	3.00	3.00
		度数	1	1
		標準偏差		
	合計	平均値	4.00	3.92
		度数	14546	14666
		標準偏差	0.88	0.90



## 授業形態

授業形態		授業運営	学修達成
講義	平均値	3.9783	3.8803
	度数	9273	9361
	標準偏差	.89257	.91580
演習	平均値	3.9209	3.8958
	度数	3869	3895
	標準偏差	.89522	.89717
実技	平均値	4.1415	4.0621
	度数	278	286
	標準偏差	.83892	.89991
実験・実技	平均値	4.2840	4.2492
	度数	1386	1396
	標準偏差	.76739	.76329
合計	平均値	3.9950	3.9223
	度数	14806	14938
	標準偏差	.88680	.90383

## 授業規模

kibo		授業運営	学修達成
~19人	平均値	4.2093	4.1107
	度数	983	987
	標準偏差	.76462	.77670
20~39人	平均値	4.0033	3.9314
	度数	11634	11725
	標準偏差	.88523	.89854
40~79人	平均値	3.8848	3.8195
	度数	1822	1853
	標準偏差	.92606	.96454
80人~	平均値	3.7023	3.6485
	度数	367	373
	標準偏差	.89252	.94890
合計	平均値	3.9950	3.9223
	度数	14806	14938
	標準偏差	.88680	.90383

学年

報告書

学年		授業運営	学修達成
1回生	平均値	3.9896	3.8888
	度数	8619	8707
	標準偏差	.88924	.92146
2回生	平均値	4.0034	3.9717
	度数	5926	5958
	標準偏差	.87871	.87168
5	平均値	3.0000	3.0000
	度数	1	1
	標準偏差	.	.
合計	平均値	3.9951	3.9224
	度数	14546	14666
	標準偏差	.88497	.90246

性別

報告書

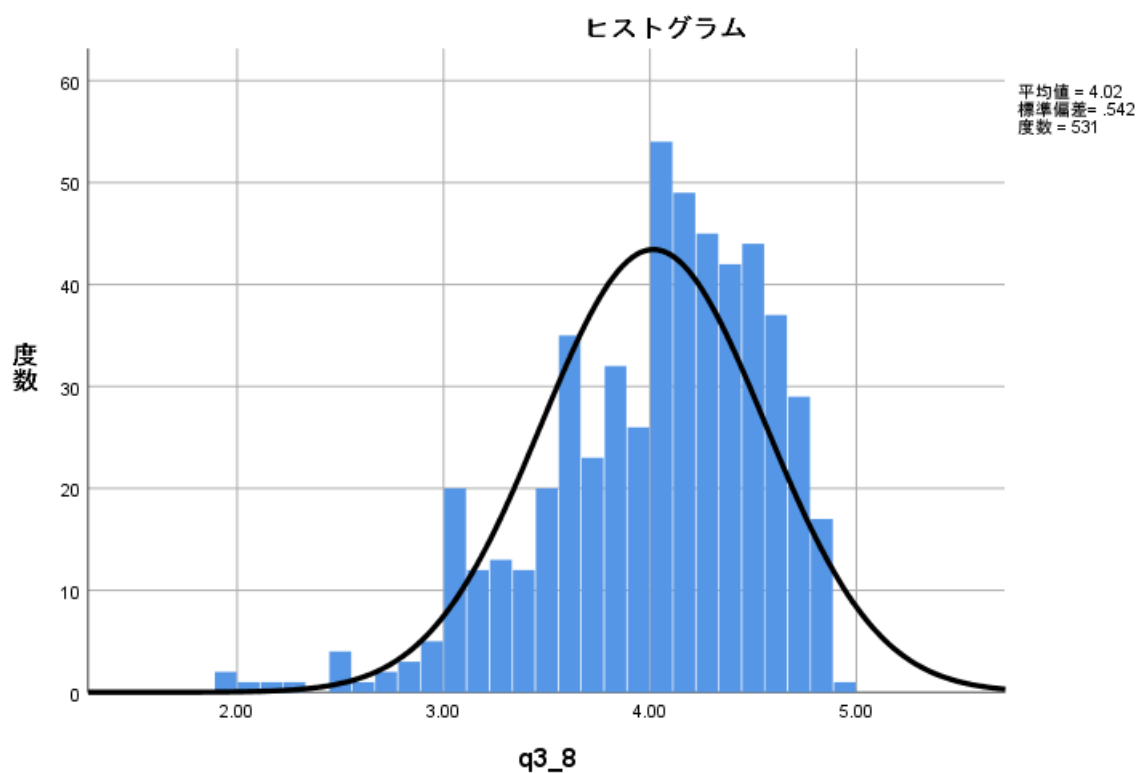
性別		授業運営	学修達成
男性	平均値	4.0195	3.9967
	度数	449	452
	標準偏差	.89509	.89699
女性	平均値	3.9985	3.9247
	度数	13867	13986
	標準偏差	.88273	.89897
その他	平均値	3.8728	3.7873
	度数	490	500
	標準偏差	.98197	1.02616
合計	平均値	3.9950	3.9223
	度数	14806	14938
	標準偏差	.88680	.90383

教員区分

報告書

教員区分		授業運営	学修達成
専任	平均値	4.0734	4.0049
	度数	8824	8890
	標準偏差	.83111	.84515
非常勤	平均値	3.8793	3.8009
	度数	5982	6048
	標準偏差	.95143	.97113
合計	平均値	3.9950	3.9223
	度数	14806	14938
	標準偏差	.88680	.90383

◆全体満足度の分布(授業平均)



授業運営尺度と学修達成尺度はよく似た傾向にある。

ともに学科による違いは小さい。授業形態では、講義・演習に比べて実技・実技が高くなっている。授業規模では、教員との距離が近い少人数授業で高く、大人数になるほど低くなっている。学年では1回生よりも2回生で高くなっている。性別および専任と非常勤による違いはほぼみられない。満足度の分布からは、4点を越えた所に大きな山があるが、全体的には高い水準であることがわかる。

◆相関分析

	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	授業運営	学修達成
1-1 出席	1	0.184	0.061	0.07	-0.017	-0.01	0.073	0.07
1-2 熱心		1	0.225	0.172	-0.034	0.167	0.48	0.467
1-3 学習時間(個別)			1	0.58	0.08	0.263	0.165	0.175
1-4 学習時間(全体)				1	0.066	0.217	0.121	0.114
1-5 難易度					1	0.004	-0.152	-0.166
1-6 シラバス活用						1	0.167	0.183
授業運営							1	0.882
学修達成								1

授業運営尺度と学修達成尺度の間に非常に強い正の相関が認められる ( $r=0.88$ )。また学生の授業への熱心さと、授業運営尺度および学修達成尺度に中程度の正の相関が見られ (それぞれ  $r=0.48$ ,  $r=0.46$ )、熱心な学生ほど、授業運営を適切だと評し、授業を高く評価している (もしくは授業運営が適切で評価の高い授業ほど学生が熱心に受講している) と考えられる。個別の学習時間と全体の学習時間にも中程度の正の相関が認められる。

## 調査票

# 教学改善のための授業評価アンケート

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

### 【記入上の注意】

- ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
- ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

〈良い例〉 ●      〈悪い例〉 ○   ●   ●   ●   ●

授業科目名	
教員名	
曜日・時限	曜    限

大 学	マネジメント学部 ①	短期 大学	生活デザイン学科 ④	幼児教育学科 ⑨
	芸術学部 ②		調理・製菓学科 調理コース ⑤	観光学科 ⑩
	教育学部 ③		調理・製菓学科 製菓コース ⑥	グローバルコミュニケーション学科 ⑪
			調理・製菓学科 フードコーディネートコース ⑦	経営会計学科 ⑫
	栄養学科 ⑧			
学年	① 1年生    ② 2年生    ③ 3年生    ④ 4年生    ⑤ 5年生以上			
性別	① 男性    ② 女性    ③ その他（または答えたくない）		学生区分	① 一般学生    ② 留学生

## I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席状況	① 4回以上欠席	② 3回欠席	③ 2回欠席
	④ 1回欠席	⑤ 全回出席	
2. この授業では、話を熱心に聴き、主体的に取り組んだ。	① そう思わない	② あまりそう思わない	③ どちらともいえない
	④ ややそう思う	⑤ そう思う	
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 全くしていない（0分）	② 30分未満	③ 30分～1時間未満
	④ 1時間～2時間未満	⑤ 2時間以上	
4. 「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題＋その他の自主的な学習」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 1時間未満	② 1時間～2時間未満	③ 2時間～4時間未満
	④ 4時間～6時間未満	⑤ 6時間以上	
5. この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた	② やや簡単だった	③ 適切だった
	④ やや難しかった	⑤ 難しすぎた	
6. 私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった	② あまり活用しなかった	③ どちらともいえない
	④ 活用した	⑤ とても活用した	

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

## II 授業内容と授業の進め方

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

## II 授業内容と授業の進め方（続き）

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら も い え ない	や や そ う 思 う	そ う 思 う
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
8. テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
9-1.（講義・演習科目の場合）黒板やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2.（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	①	②	③	④	⑤
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	①	②	③	④	⑤
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	①	②	③	④	⑤
14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	①	②	③	④	⑤
15. この授業では適切な教育設備（ネット・空調・プロジェクターなど）が整っていた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

## III 授業を通して得られたこと

	そう 思 わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら も い え ない	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 学習力や思考力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

IV 自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）



このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

[記入上の注意]

- ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
- ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

〈良い例〉 ● 〈悪い例〉 ○ ● ● ● ●

授業科目名	
教員名	
曜日・時限	曜 限

大 学	マネジメント学部 ①	短期 大学	生活デザイン学科 ④	幼児教育学科 ⑨
	芸術学部 ②		調理・製菓学科 調理コース ⑤	観光学科 ⑩
	教育学部 ③		調理・製菓学科 製菓コース ⑥	グローバルコミュニケーション学科 ⑪
			調理・製菓学科 フードコーディネートコース ⑦	経営会計学科 ⑫
			栄養学科 ⑧	

I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席状況	① 4回以上欠席 ④ 1回欠席	② 3回欠席 ⑤ 全回出席	③ 2回欠席
2. この授業では、話を熱心に聴き、主体的に取り組んだ。	① そう思わない ④ ややそう思う	② あまりそう思わない ⑤ そう思う	③ どちらともいえない
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 全くしていない（0分） ④ 1時間～2時間未満	② 30分未満 ⑤ 2時間以上	③ 30分～1時間未満
4. この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた ④ やや難しかった	② やや簡単だった ⑤ 難しすぎた	③ 適切だった
5. 私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった ④ 活用した	② あまり活用しなかった ⑤ とても活用した	③ どちらともいえない

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

II 授業内容と授業の進め方

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員による実演の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

II 授業内容と授業の進め方（続き）

	そう 思わない	あ まり 思 わ な い	ど ち ら も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
9. 「こどもが大好きなうたの本」を用いた練習は充実していた。	①	②	③	④	⑤
10. この授業では適切な教育設備（空調など）が整っていた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

III 授業を通して得られたこと

	そう 思わない	あ まり 思 わ な い	ど ち ら も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. ピアノ技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 楽曲の理解力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. 表現する力が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

IV 自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）

-----

-----

-----

-----

-----

-----